



市内初の総務省

消防庁消防団協力

事業所に認定

2月5日、市消防本部で総務省消防庁消防団協力事業所認定に伴う表示証伝達式を行いました。

本制度は総務省消防庁が消防団員加入促進に向けた取り組みのひとつとして行っているもので、市では「たくみ株式会社」が初めての認定となります。

代表取締役の上田さんは現役の消防団員で、従業員33人のうち6人も消防団に所属。式に参列した鬼武消防団長は「これから、積極的な協力をいただきたい」と今後の活動へ期待を寄せました。



110年前の姿を今に

旧直方駅舎車寄移築復原

2月13日、JR直方駅前で直方駅前イベント広場・旧直方駅舎車寄の上棟式がありました。

旧直方駅舎は明治43年に建築。平成23年に再開発で解体される際、保存を望む市民運動などを受けて市が部材を保管していました。上棟式には、地元の保育園児たちをはじめ大勢の市民が参加。現地説明会では、検討委員会メンバーの長崎総合科学大学工学部教授の山田由香里さんが「今後、どんな風に市民に愛されていくのか楽しみ」と話しました。



平安時代の宝を

現代に受け継ぐ



2月16日、植木の蓮照寺で「石柱梵字曼荼羅碑造立950年記念講演会」が開かれました。

同碑は、古代インドの文字である梵字が彫られ、江戸時代に発見されて以降、植木の観音堂に祀られてきたものです。当日は地元植木の住民をはじめ、市内外から110人を超える人が集まりました。

鞍手町から参加した梶栗浩二さん(67)は「遠賀川流域の歴史を学ぶうえで、とてもためになるものでした」と話しました。

ぶどうラグー

新特産物お披露目

2月20日、下新入のほっけじ岡松ぶどう園が開発した「ぶどうラグー(フランス語で「煮込み」の意味)」のお披露目会がありました。

市農産物ブランド化推進協議会会長でぶどうを生産している岡松秀樹さん(68)が、試行錯誤を重ねてできたものです。思いを込めて付けた名前110文字にちなみ、ニツクネームを「110(イチイチマル)」に。岡松さんは「このラグーから直方を知ってもらえるようにしたい」と意気込みを語りました。





プログラミングを 身近に

2月24日、直鞍産業振興センターで次世代キッズプログラミング教室(第2期)がありました。同教室は、子どもたちにITの力を養ってもらうのと、直鞍次世代産業研究会が1月～2月に(全3回)開催したものです。



最終日を迎える今回は、17組の親子が参加し、発表会を実施。子どもたちがマイクロビットを使ったプログラミングを発表すると、サポーターとして参加した鞍手高校SSH部の皆さんも、そのレベルの高さにびっくりしていました。タイマーを作った下境小5年の佐々木皓平さん(11)は「自分が作りたいと思うものを作れるところに魅力を感じる」と目を輝かせていました。

興武会館初の チャンピオン誕生

3月4日、第5回全日本少年少女空手道選手権大会リアルチャンピオンシップで優秀な成績を収めた市内の小中学生が、市庁舎で市長に報告しました。訪れたのは「小学5年男子クラス35歳以上」で準優勝した岩瀬光一さん(11)、「中学2・3年男子クラス50歳未満」で準優勝した松岡昇英さん(14)、「小学5年女子クラス」でベスト4になった本多絢美さん(11)、「小学6年男子クラス40歳未満」でベスト8になった大谷暁大さん(12)の4人です。また岩瀬さんは、第3回WKOジャパンアスリートカップの決勝大会「小5男子の部35歳以上」で優勝し、所属する興武会館で初となる成績を収めました。



直方市公式LINE はじめました

スマートフォンのコミュニケーション「LINE」で、直方市公式アカウントの運用を開始しました。平常時は「ごみの分別方法」や「近くの避難所」の検索ツールとして、災害時は避難情報の受信ツールとして活用できます。ぜひ、登録してください。



登録(友だち追加)方法:
▽QRコードから登録する場合
▽左記QRコードを読み取り、表示されたURLにアクセス



▽LINEから登録する場合
場合「LINEアプリを開いて、「直方市」を検索(公式アカウント)問い合わせ:秘書広報課秘書広報係
(TEL 25-2236)

市のホームページでは、この他の話題も公開しています。

題字、一新しました。

市報のおがた

皆さん、気づきましたか?「市報のおがた」の題字が、今号から変わりました。「のおがた」は、力強く未来に進む直方市をイメージし、書が得意な市職員がしたためたものを使用。また「市報」は、昭和38年に発行された初期の題字デザインを採用。未来への希望と古き良き時代への思いを込めた題字を、ぜひお楽しみください。

